
男と女

朱雀桃子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

男と女

【著者名】

朱雀桃子

NZT-1

NZ5366H

【あらすじ】

心がほんの少し温かくなるショートコメディー

むかし、むしか、あるとこに仲の良いカップルがいました。
しかし、男が出来心で浮氣をしてしまいました。

そんなある日の出来事です・・・。

扇風機の音だけだ響き渡る部屋で女はボソッとつぶやいた。
「あなた、浮氣してるでしょ？」

女はそう言いながら、ゆっくりと椅子に座りながら話しだした。

「私知ってるのよ？あなた、会社の若い女の子と浮氣してるんでしょ？一緒にホテルに入つていいくの見たんだから・・・」

女は睨みながら男にそう言った。

そう言われた男は、女に背を向けタバコを吸つた。

男の心中では、ピンチ警報が鳴り響いていた。

どうやって、『まかせ』、どうやってこの場を逃れようとフル回転で頭を使つた。

男は、策を考え付き、ニヤッと笑いの方を向いた。

「え？なに言つてるんだよ～。僕が浮氣するはずないじゃないか！」

じやあ聞くけど、

そのホテルつてどこのホテルなのぞ？」

男はそう言つた。きっとホテルの名前など、覚えてないし、曖昧だろうと思い、

攻撃を仕掛けたのだ。

「駅の裏のスーパー高橋の隣のラブラブキッス」

男は、冷や汗をかき、また女に背を向けた。

場所も名前も完璧に覚えていたとは、男はさすがに焦った。
しかし、男にはまだ策はあった。

「もひ、いい加減にしなよ！僕は浮気なんてしないよーじゃ、証拠はあるの？僕が浮気してるって決定的な証拠を見せて・・・」

そう男が話している途中に女は携帯を開き、一枚の画像を男に見せた。

その画像はあきらかに、自分が会社の女の子とホテルに入る瞬間の画像だった。

「はい、証拠」

男はまた女に背を見せた。

決定的すぎるよ・・・と男は思いながら、またタバコを吸つた。

「浮氣してるんでしょ？隠しても無駄だよ？」
女はそう言つて、じつと男を見ていた。

そして男はそれはそれは、立派な土下座をしたのであった。

おしまい、おしまい。

「ママ、もう終わり～？」のお話の続きは～？」

「続きはね、その馬鹿な男は女にヒビヒビ怒られて、今は真面目

になつたよ。」

「やうなんだ～！馬鹿な男だね～」

「そうね～。あら、そろそろ、その馬鹿な男が帰つてくる時間かしらね」

「ただいまー。今帰つたよー。」

「はい、おかえりなさい、あなた」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5366h/>

男と女

2010年12月24日02時29分発行